PSET2025国際学会（日本・東京）日本語論文のテンプレート

第一　著者＊，第二　著者，第三　著者 (著者らの所属機関)

Written-in-Japanese Paper Template for　PSET2025 International Conference (Tokyo, Japan)

First Author, Second Author, Third Author (Author's Affiliation)

１．第一章

　投稿論文原稿は、A4原寸で印刷されます。執筆の時は以下の説明をよく読んだ上で、お使いのワードプロセッサ等で可能な範囲で指示に従って原稿をお書きください。なお、この説明書は、講演論文のレイアウトの見本になっていますので、参考にしてください。

２．第二章

・Wordのテンプレートで原稿を作成し、PDFバージョンで投稿してください。

・Wordのテンプレートで原稿を作成し、PDFバージョンで投稿してください。

・Wordのテンプレートで原稿を作成し、PDFバージョンで投稿してください。

・Wordのテンプレートで原稿を作成し、PDFバージョンで投稿してください。

３．第三章レイアウトと文字サイズ

＜3・1＞マージンとカラム幅　　原稿用紙のマージンおよびカラム幅（全ページ共通）は、表1のとおりです。特に上下左右のマージンは厳守してください。

表1　マージン

Table1. Margins

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 上マージン　　　 | 30mm |  |
| 下マージン | 27mm |
| 左右マージン | 18mm |
| カラム間マージン | 7mm |
| カラム幅 | 83.5mm |

表2　文字サイズ

Table2. Type sizes

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | サイズ | 行送り |  |
| 論文タイトル | 18pt | 28pt |
| 著者名 | 12pt | 18pt |
| 英文タイトル著者所属名 | 9pt | 14pt |
| 章タイトル | 10pt | 20pt |
| 本文 | 9pt | 14pt |
| 参考文献 | 8pt | 12pt |

2カラム（2段組）とし、各コラムの幅、カラム間マージンは表1のとおりです。本文の字詰は、1行あたり26文字程度とします。分量は、図面、写真等を含めて1枚ないし2枚、シンポジウムは４枚以内です。

文　献

1. J. Clerk Maxwell, A Treatise on Electricity and Magnetism, 3rd ed., vol. 2. Oxford: Clarendon, 1892, pp.68–73.
2. 電気太郎，電力一郎：PSET国際学会論文，No.2025

＜3・2＞配置　　表題等は、この見本に従って次の①～④の順序で記載し、本文を書き始めてください。（2ページ目以降は、①～③不要）文字サイズと行送りは、表2を参考にしてください。

①表題：第1行中央に2カラム通しで書く（長ければ第2行も使う。第1行で済めば、第2行目は詰める）。

 表題1行目の左に、講演番号のスペースをあける。（テンプレートにおいては講演番号のスペースは設定してある）

②著者名および勤務先：表題の下を1行あけて、次の行から中央に2カラム通しで書く。講演者名の右肩に「＊」印を付ける。

③英文表題、氏名（所属）：著者名および勤務先の下を1行あけて、次の行から中央に2カラム通しで書く。

④本文：英文による表題、氏名の下を1行あけて、次の行から書く。2ページは、上マージンに続いて第1行から本文を書く。

＜3・3＞文献　　文献は本文末尾に通し番号を付けて一括記載し、本文中の該当個所に引用番号を付けてください。文献の記載方法は、著者名、雑誌名、ページ、発行年の順序にしてください。

＜3・4＞式および図　　式および図は、図1および以下の記載例を参考にしてください。図面等を貼り付ける場合は、しわにならないように注意してください。また、図や表の表題は和英両語で図表の下に記載してください。図表中の説明は原則として英語としてください。

 *a + b = λ* (1)

図1図面の例

Fig.1. An example of figures